

蘇州泉屋百貨での石川フェア開催について

上海の隣に位置し、金沢市と姉妹都市提携を結んでいる江蘇省蘇州市にある日系百貨店「蘇州泉屋百貨」において、2月14日から23日までの10日間、「石川フェア」を開催しました。本フェアでは、菓子や調味料などの食品27商品と、山中漆器や九谷焼などの伝統的工芸品等24商品をPR・販売しました。

蘇州は紀元前500年頃の春秋時代に呉の都が置かれた歴史ある都市であり、有名な故事成語「臥薪嘗胆」や「呉越同舟」の舞台としても知られているほか、河と橋が多い街の一つであり、市内には大小さまざまな運河が張り巡らされていることから、「東洋のベネチア」とも呼ばれ、観光地としての人気が高い都市となっています。また、古くから絹織物産業が発展し、交通の利便性にも優れていることから、多くの日系企業が進出しています。中国に拠点を持つ県内企業においても、上海の次に拠点数が多い地域になっています。

さて、蘇州泉屋百貨店周辺には日本人居住者が多く、期間中は地元中国人の他日本人のお客様にも多くご来場いただきました。日本人の方は、様々な商品をまとめ買いされる方が多い一方で、地元の方は、手作りドーナツやお米を試食して購入し、後日また来店されるというように、連日来られる方が多くいました。泉屋百貨のスーパー内にも日本の商品は置いてありますが、種類が限られているため、本フェアのように多様な日本産品が並んでいる催事は、常連客にとっても新鮮だったようです。全体的には、スイーツやお菓子、健康飲料、カラフルで使いやすい食器などが女性や子供に人気だったほか、男性客には純米大吟醸などの日本酒がよく売れました。

また、食品の活用イメージを直に訴求するため、醤油などの調味料等については、お米や卵と一緒に試食提供したり、食器や花器については、より臨場感が出るように食材を盛り付けたり、花を添えたりするディスプレイを行いました。これにより商品の関心が高まり、購買につながる場面も見られました。

さらに、週末には水引きなどの工芸体験イベントを行い、大人から子供まで石川県の伝統文化に親しんでいただきました。泉屋百貨の担当者からは、「昨年6月に石川県へ訪問し、現地の文化やメーカーの伝統や想いを実際に見てきた。その経験を活かし、会場装飾やPOPのデザインなどを工夫した。今回のイベントを通して、若者やファミリー層といった新たな顧客層の開拓にもつながったため、手応えを感じている」とのコメントがありました。

次年度においても、こうした取り組みを継続できるよう、関係者との連携強化に尽力していきたいと思えます。

◆ 上海高島屋VIPラウンジでの伝統的工芸品イベント

毎年3月8日は「国際女性デー」であり、中国では「婦女節」と呼ばれています。この日は、職場で女性が半日休みとなるほか、各地で女性を祝う催しが行われます。その3月8日

に、上海高島屋のVIP ラウンジにて、女性向けの輪島塗ネックレスをはじめ、石川県の伝統的工芸品をPR・販売するイベントを開催しました。本イベントは、同店のVIP 顧客を対象に、輪島塗や大樋焼などの歴史や特色を紹介し、商品購入やインバウンド誘客につなげることを目的に実施しました。

当日は、輪島塗および大樋焼の事業者にオンラインでご出演いただき、伝統工芸の歴史や特色、独自のこだわり部分などについて、動画や店舗ショールームの映像を交えながらご説明いただきました。参加者からは、「輪島塗のアクセサリーの色合いが綺麗だが、経年変化することはあるか」「どのように手入れすればよいか」「大樋焼の湯呑は食洗機を使用しても大丈夫か」など、実際の使用を想定した質問が寄せられました。講演終了後には、アクセサリーと湯呑をまとめて購入されるお客様も見られました。

また、石川の地酒を輪島塗や九谷焼の酒器で試飲できるプロモーションも行いました。金箔が施されたお猪口や輪島塗の酒器で純米酒や梅酒を試飲したお客様からは、「金箔は綺麗で縁起がいいので、お祝い用に使いたい」「漆器の口当たりがとても柔らかい」といった感想が聞かれ、イベント後には同店売場で金箔グラスと日本酒をセットで購入される方もいらっしゃいました。

このような日本の事業者と交流できるイベントは、現地でのニーズが高く、販売にもつながりやすいので、今後もこうした機会を積極的に設けていきたいと考えています。



←蘇州泉屋百貨での石川フェアの様子



←蘇州泉屋百貨での水引体験の様子

上海高島屋VIP ラウンジでの
イベントの様子 →

